

記者発表資料	
令和2年4月3日	
担当課 (担当)	企画推進部情報政策課 山根 寿彦
電 話	30-8025 (内線 7060)
担当課 (担当)	危機管理部危機管理課 横尾 賢二
電 話	20-3126 (内線 7080)

『FM鳥取』の可聴エリアを拡張しました

コミュニティFM『FM鳥取』（周波数 82.5MHz）は地域情報をはじめとして、市の行政情報や防災情報の発信を行っています。

これまで、FM鳥取の放送は、本陣山に中継局を置き、市街地を中心としたエリアでお聞きいただいていたのですが、このたび、多くの市民や観光客の皆さまにお聞きいただくため、主要道路エリアを中心に新たな中継局を令和2年3月に整備しました。

これに伴い、4月以降は毛無山の北側や小倉山周辺を中心に聴取可能なエリアが広がり、防災ラジオをより有効に活用できることとなります。

1. 事業概要

(1) 設備

中継局の建設（2基）

場所：毛無山（鳥取市矢矧）、小倉山（鳥取市用瀬町別府）

(2) 電波による可聴エリア

- 交通の大動脈である山陰道、国道9号線及び鳥取道、国道53号線等の主要道路を網羅
- 世帯カバー率 98.4%（11.5%増加：エリア拡張前 86.9%）

〔 エリア外については、ケーブルテレビとインターネット放送で補完し
ほぼ全世帯でFM鳥取が聴取可能となります。 〕

(3) 事業費

- 124,409千円

（無線システム普及支援事業費等補助金（民放ラジオ難聴対策支援事業） 68,516千円）

2. 本格放送開始

令和2年4月1日

3. 鳥取市防災ラジオの販売状況について

防災ラジオについては、市民の皆様から非常に高い関心をいただいております。

各販売店の状況から、購入希望の台数が4月の当初入荷台数を上回っているため、現在、市民の皆様のお手元に届きにくい状況となっております。

早期に防災ラジオが行き渡るよう、今後、増産体制の強化に努めてまいります。